



# 受動態とは何か

## 英文法入門⑩

- 態
- 受動態とは
- 受動態の動詞の形
- 5種類の受動態
- コラム：欠けた要素はどうする？
- 感情動詞の受動態

# 態 (Voice)



- ある行為について、行為者から見るか、被行為者から見るかの区別。
  - 「待つ」という行為なら、待っているのが私で、私に待たれているのが君。
  - 「作る」という行為なら、作っているのが私で、作られているがケーキ。
  - 「書く」という行為なら、書いているのが私で、書かれているのが文章。
  - 「産む」という行為なら、産んでいるのが私で、産まれているのが私の娘。
  - 「させる」という行為なら、させているのが私で、**している**のが君。

- 英語の態は2種類

- ① 能動態 (受動態じゃないヤツ)
- ② **受動態** (今からやるヤツ)

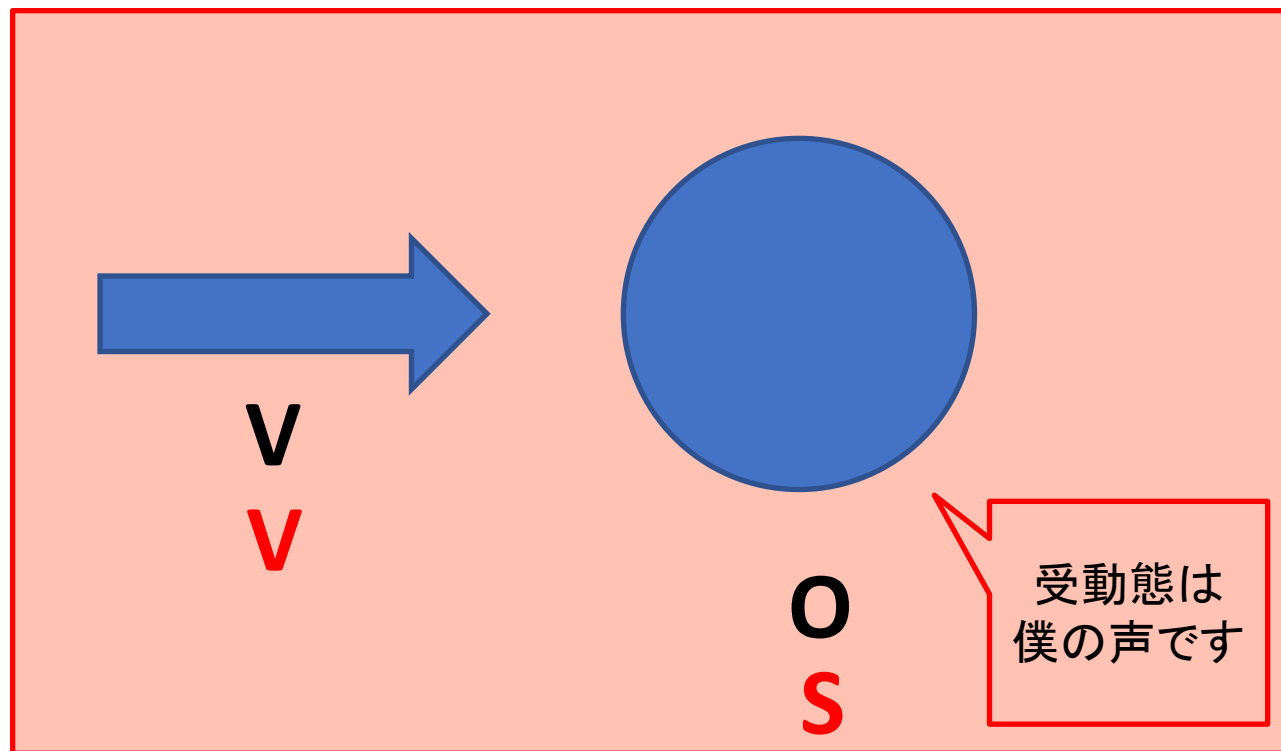
※注意！  
「させられている人」  
と「している人」は同じ人です。(…よね?)

つまり英語の「受動態」と日本語の「れる・られる」は  
たまたま被る表現が多いだけで、  
実際には何の関係もありません。

# 受動態とは…



- OをSの役割に置いて書き換えた形。



# 5種類の受動態

- 元の文型に**0**がある文でない**と受動態にならない**

元の文型(能動態)	受動態
<SVO>	<SV__>
<SVO102>	<SVO1__>
<SVO102>	<SV__O2>
<SVOC>	<SV__C>
前置詞+0	前置詞+__

存在する受動態のパターンはこれですべてと考えて大丈夫です！

つまり受動態の文型は

**元の文型から0がひとつ欠けた形になる。**

※各受動態の例と説明は次の回のスライド以降で説明します！



# コラム：欠けた要素はどうする？



文型においては要素 (S,O,C) を空白にすることは出来ませんが、受動態においては文の要素が欠けている必要があります。能動態のOは受動態ではSの位置に移動し、能動態のSはロケット鉛筆式に押し出されていなくなり、見かけ上はOがひとつ減った状態になります。正確に言えば欠けているのが正しいというよりは、欠けた結果残る形そのものが**受動態の文型**なのです。受動態の文型の則って書かれているのだから能動態を「元の文」とか呼んでわざわざ考慮に入れる必要があるのかという気もしますが、すべての能動態の文が受動態に書き換えられるわけではない一方で、**受動態の文は必ずすべからく能動態に書き換えられます。**（不自然な表現にあることはあるけど。）そう考えると、やはり受動態の文は能動態を前提をしているわけで、慣れるまでは能動態を想定してから文法的な理解を整理するという武器も持っておくべきだと思います。

話がそれましたが、そういうわけで受動態の文では常に空席となった元のO（受動態のS）の居場所への意識が大切です。もちろんこの空席に押し出された元のSを座らせるわけにはいきません。ここはOの居場所と決まっていて、永久欠番です。だから元のSを書きたいときには前置詞を使った追加の席を作ってあげなければなりません。byとかね。

この「欠けた要素」の意識は受動態以外にもto Vの形容詞用法、関係代名詞、循環構文など英語では頻繁に要求される感覚です。「欠けている」と気づけるのは元の形が強く意識されているからですし、話すときや書くときも、わざわざ欠けている状態を作るために前置詞をひとつ余計に（余計ではないんだけど！）おかなければならないことのあるくらい。欠けた要素があるのに気づくこと、そして欠けた要素を欠けたままにしておくこと、その見えない空白への意識。まずは受動態を通して慣れていきましょう。

# 受動態の動詞の形



<be> + Vp.p. (過去分詞)

文型をとるときは

[be Vp.p.]をひとまとまりでひとつの動詞と考える

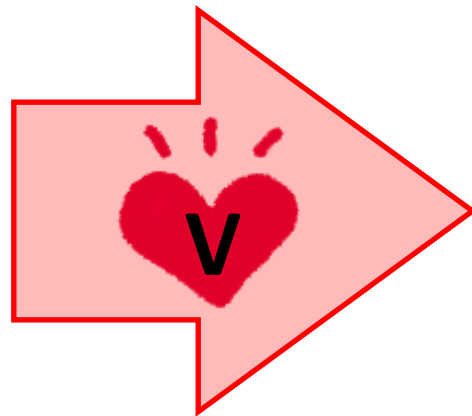
The book was written (in 1848).

S V

ちなみに受動態はbe動詞の文となるので、否定文や疑問文、その他倒置などのルールはすべてbe動詞の規則に従います。

# 感情動詞の受動態

- 感情は内的に湧き出るのではなく、外的刺激によって引き起こされるもの。
  - 感情の動詞の多くは感情の原因をS、感情の抱き手をOにとり、「～な気持ちにさせる」という訳になる。



外的刺激

excites



コーフンしているのはこの男性ですが、英語では「興奮させられている」という考え方になります。

今は女性から脈ありビームが出ているので舞い上がっているのも頷けますが、何も起きていないのに急に道端で舞い上がっちゃったらアブナイです。

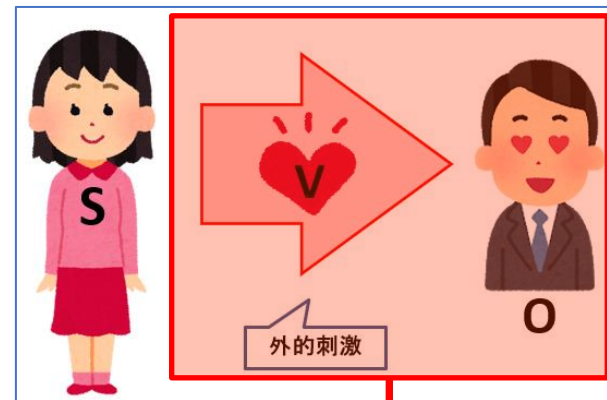
ある意味この点では英語の表現の方が「感情」の仕組みを正確にとらえていると言えるかも？

え？愛は感情なのにlove youで能動態じゃないかって？君は刺激への誰かを愛するのか？ん？この変態め。愛は能動でしょうか。自分の意志で愛するんでしょうが。愛が受け身でいいのかな？ん？わかったら英語よりも道徳を勉強しなさいね。  
いや、なんでもないです。要するに感情動詞はなんでもかんでも受け身という一辺倒な理解をしないように気を付けてくださいと、まあそういうことです。

# 感情動詞の受動態

<sup>S</sup> [能動態] She <sup>V</sup> excites <sup>O</sup> him.

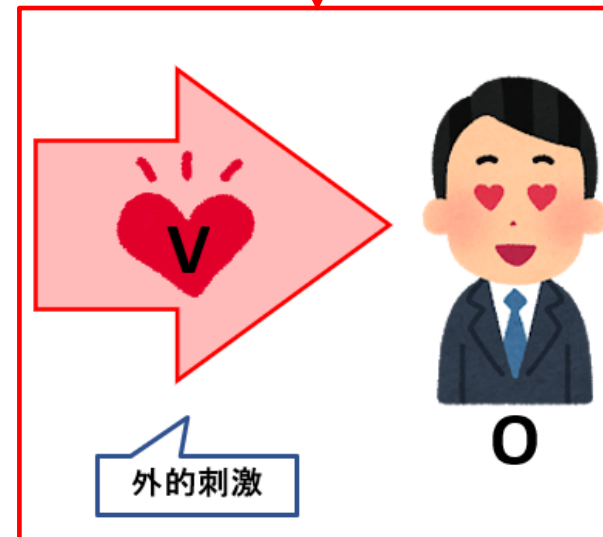
「彼女は彼をワクワクさせている。」



<sup>S</sup> [受動態] He is excited. <sup>V</sup>

「彼はワクワクさせられている。」

= 「彼はワクワクしている。」



繰り返しますが  
「させられている人」と「している人」は  
ニュアンスは違えど同じ人指しています。  
「ワクワクさせられている」という訳もちろん間違い  
ではないですが、日本語として使い時を選びます。受  
動態と「れる・られる」は無関係ですので、普通に「ワ  
クワクしている」と理解してOKです。



# 「～させる」の意味をもつ感情動詞の例

excite (ワクワク)    satisfy (満足)    terrify (怖い)  
embarrass (恥ずかしい)    upset (動揺)    relax (リラックス)  
irritate (イライラ)    disappoint (失望)    depress (憂鬱)  
motivate (ヤル気)    surprise (びっくり)    please (喜び)  
amuse (楽しい)    interest (興味)    move (感動)    relieve (安心)  
thrill (ハラハラ)    annoy (むかつく)    bore (退屈)    frustrate (ぐぬぬ)  
tire (疲れ)    scare (怖い)    frighten (怖い)    confuse (混乱)  
concern (心配)    exhaust (くたくた)

sad (悲しい)、happy (嬉しい)、sorry (残念)などは、動詞や受動態と無関係に形容詞として感情を表現しています。